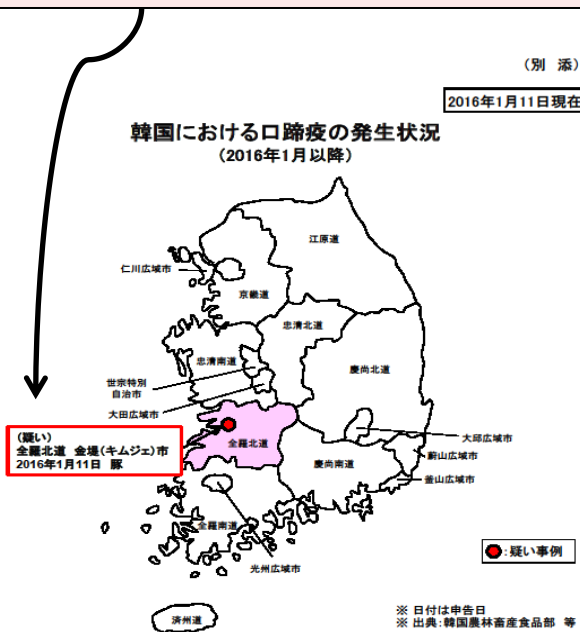


韓国で口蹄疫疑い事例確認!

飼養衛生管理の徹底・防疫対策の強化

全羅北道 金堤市の豚飼育農場で口蹄疫疑い事例確認



○2014年以降の韓国における口蹄疫の流行(O型)

- ・2014年7月～8月: 3件(豚3件)
慶尚北道(2件)、慶尚南道(1件)
- ・2014年12月～2015年4月: 185件(牛5件、豚180件)
忠清南道(70件)、京畿道(56件)、忠清北道(36件)、江原道(11件)、慶尚北道(8件)、仁川広域市(2件)、世宗特別自治市(2件)

※最終発生日: 2015年4月28日(忠清南道洪城郡 牛)

- ◆口蹄疫が我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況です。
- ◆飼養衛生管理を徹底して、防疫対策を強化することが侵入防止の基本です。

■ 口蹄疫を疑う家畜の異状(39℃以上の発熱、多量の水ぶくれ等)に気付いた時には、家畜保健衛生所に連絡してください。

◆ 口蹄疫等が発生している国への渡航は自粛。

◆ 仮に渡航する場合には、畜産関連施設には立入らない。肉製品は持ち帰らない。帰国の際は、動物検疫所で家畜防疫官の指導を受ける。帰国後1週間は農場等に立入らない。

- ◆ 農場への人や車両の出入りは必要最低限に。
- ◆ 出入りの際には農場専用の衣服を着用し、厳重に消毒。
- ◆ 入場者の記録は、しっかりとつけること。

異状を発見したら、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください。
※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。



メッセージは、最後まで聞いてね!